

オーディオ実験室収載

OTTAVA f SC-C70 の導入(1)

—事前調査と発売前試聴—

1. はじめに

パナソニックから Technics ブランドのハイレゾ対応一体型オーディオシステムの「OTTAVA f SC-C70」を発売するとのアナウンスがあり、事前調査と発売前の試聴を行い、導入を決めました。

2. OTTAVA f SC-C70 選定の経過

OTTAVA f SC-C70 発売のアナウンスの前から 1 階の居間におくシンプルなシステムの調査を行っており、naim 社の Mu-so QB を候補に挙げて調査を行っていたところでした。

Mu-so QB に着目した理由は、1 階の居間には TANNOY の ARDEN のシステムがありますが、真空管アンプを使用する大掛かりなシステムであり、CD しか聞くことができず、簡便な 1 体型で多機能システムを探していたからです。この Mu-so QB の紹介は下記サイトの記載および DiGi Fi の記事があります。

<https://www.naimaudio.com/ja/mu-so-qb>

<http://www.modernity.jp/brand/naimaudio/mu-so-qb/>

Digi Fi No.26 P54 「ハイレゾやストリーミング再生にも対応した英国 naim の高音質指向の一体型スピーカー」



一方、OTTAVA f SC-C70 は下記のサイトに情報があります。

<http://av.watch.impress.co.jp/docs/news/1081251.html>

<http://www.phileweb.com/news/audio/201709/20/19074.html>

<http://www.stereosound.co.jp/news/article/2017/09/20/60707.html>

<http://jp.technics.com/products/c70/>

<http://jp.technics.com/products/c70/images/c70.pdf>

<http://www.stereosound.co.jp/review/article/2017/09/22/60832-2.html>

SC-C70 は一体型で多様な入力、再生ルートがあり、詳細は上記サイトに紹介されていますが、2.1ch のスピーカーと、CD プレーヤー、DLNA のネットワークプレーヤー、USB メモリー再生、ラジオチューナーを 1 つの筐体に搭載しており、WiFi 再生、Bluetooth 再生、Spotify Connect にも対応という内容です。上記のステレオサウンドオンラインの記事によれば、SC-C70 はベルリンフィルとパナソニック/テクニクスの協業の最初の成果ということのようです。



Mu-so QB と OTTAVA f SC-C70 を上記資料から比較しますと、機能の豊富さで後者が勝り、また前者は DSD の再生に対応していないことがあります。

3. OTTAVA f SC-C70 の発売前試聴

Mu-so QB は実際においてあるショップではなく、一方 OTTAVA f SC-C70 はパナソニックセンター大阪 1 階の Technics 製品試聴ルームで試聴できることが分りましたので、試聴を申し込み、その経過は[テクニクスリスニングルーム試聴記（2017.9.23）](#)で報告しています。

4. まとめ

Mu-so QB と OTTAVA f SC-C70 の機能の比較と実際に後者を試聴した結果、OTTAVA f SC-C70 の発売を待って導入に踏み切りました。

以上